

idea

CONNECT × CONNECT

Twitter★http://twitter.com/#!/center_i

HP★<http://www.center-i.org>

いちのせき市民活動センターニュースレター アイデア

NEWS LETTER IDEA

november

2012

いちのせき市民活動センター情報誌「idea」は、
NPO・行政・企業の情報発信により、アイデアと
出合いの機会を創ります。

いちのせき市民活動センター

〒021-0881 岩手県一関市大町 4-29 なのはなプラザ4F

TEL 0191-26-6400 FAX 26-6415

Email center-i@tempo.ocn.ne.jp

せんまやサテライト

〒029-0803 岩手県千厩町千厩字町 149

TEL 0191-48-3735 FAX 0191-48-3736

Vol.08



いちのせき市民活動センタースタッフ対談 「地域づくりのお仕事」



右から千葉、佐藤、鈴木、畠山
撮影：金野

今月は、いちのせき市民活動センタースタッフの千葉歩、鈴木ひろみ、畠山信禎、佐藤大輔、金野尋世の、何気ない話を記事に取り上げました。

◆今まで行った仕事の中で、楽しかったことは何ですか。

千葉／私は市民フェスタがすごく楽しかったです。それから、岩手日日の記者さんを講師に招いて行った、広報ブラッシュアップ講座がすごく勉強になりましたね。面白かったです。
佐藤さん／僕は地域に出てお話をするのが楽しいですね。
例えば、11月4日に高田で行ったまちあるきでも、地域の

方とお話が出来て楽しかったです。それから、初めて会った人に挨拶をして、その後、別の場所で偶然会ったときに「佐藤くん！」と呼びかけられ、名前を覚えてくれた時は嬉しかったですね。

鈴木／私は取材で自治会長さんの家を訪問し、地域のことを話し合っている時が楽しいと感じます。梅里村の方々は、取材の後も仕事の依頼をもらったりし、とてもありがたいと思っています。

畠山／私は、市民フェスタが一番「やりとげたな」という感じがあります。それから地域訪問で、会った人に挨拶をしたら実は近くに住んでいる人だったとか。その後で全然関係ない所で声をかけられたりして、どんどん人との繋がりができていくのは、楽しいですね。

金野／私は毎月、地域の団体を取材していますが、そこで「今度〇〇のイベントを開くのか」とか「利用してくれる人が増えたよ」と嬉しそうに話

す方の笑顔を見ると、ますます応援したいという気持ちが強くなります。それが、私が仕事を行う励みにもなります。

◆今後どんな仕事をしたいですか？

佐藤／今まで関わった地域の人達と話したりしていると、これからも地域の人が安心して暮らせる地域であってほしいと思います。そのためには、まず悩みが無いことが重要だと思うので、地域の人達が悩み事を僕に相談してくれた時に、しっかりと受け答えができるように勉強しておきたいと思います。

千葉／私は若いお母さん達で行えるワークをやってみたいです。例えばアロマ講座や、シルバークセサリー製作とか。女性と子どもと一緒に、気軽に楽しめるワークがあってもいいんじゃないかと思います。

鈴木／私もそう思います。自治会の取材で会う方はいつも高齢の方が多いので、もっと

若い人達も地域づくりに参加できるような環境を作りたいですね。

畠山／私は若い皆さんが地域づくりを行うにあたり、安心して外に出れるように、センターの中の管理をしつかりたいと思います。相談対応ができるよう基礎的な能力を身につけた上で、みなさんのサポートができるような形が作れればと思います。

金野／私は、地域の人達が皆明るくいいきと暮らせるようなまちにできればと思います。そのために、地域の良いところや頑張っている所を、idea等を通じて情報を発信し、読む人にも元気になってもらえるような記事が書ければと思います。

これからもスタッフ共々全力で地域づくりに励みますので、どうぞよろしくお願ひします！

2 | いちのせき市民活動センター スタッフ対談

一関市内の NPO 法人
市内 31 法人が活動中です。

4 | 地域コミュニティの活動紹介 東山長坂 7 区自治会

5 | 企業の地域づくり 三菱マテリアル株式会社

6 | 団体紹介 NPO 法人 千厩まちかどケアセンター

7 | 歩が行く-スタッフの体験レポート- みちのくワークショップフォーラム

8 | 12 月のイベント・ボランティア情報

- 1 藤沢町ボランティアピアセンター
 - 2 北上川流域河川生態系保全協会
 - 3 ケアセンターいこい
 - 4 須川の自然を考える会
 - 5 レスパイトハウス・ハンズ
 - 6 一関文化会議所
 - 7 一関ケアセンター
 - 8 ワークハウス雲
 - 9 里山自然学校 はずみの里
 - 10 全国地域学習振興会
 - 11 北上川サポート協会
 - 12 グリーンハート
 - 13 いわい地域支援センター
 - 14 アートで明るく生きるかわさき
 - 15 障害者への偏見と差別をなくす会
 - 16 サン.スマイル
 - 17 ねこの手クラブ
 - 18 いわてコミュニティファンド
 - 19 千厩まちかどケアセンター
 - 20 いわて発達障害サポートセンターええ町づくり隊
 - 21 いちのせき子育てネット
 - 22 響生
 - 23 わかば会
 - 24 防災サポートいちのせき
 - 25 とーばんふうどくらぶ
 - 26 生涯支援センター岩手 日向ぼっこ
 - 27 あゆみ
 - 28 子育て支援いっすね
 - 29 ファンスポルト一関
 - 30 北上川流域連携交流会
 - 31 グローバルヒューマン
- (認証順で掲載しています)

11 月の表紙



今月はスタッフがワークショップフォーラム準備のため、僕がまちあるきに出かけました。すっかり寒くなりましたね。みなさん、風邪をひかないように気を付けてね！

いちのせき市民活動センターニュースレターideaは、市民活動がアイデアを持ってNPOと行政や企業、市民との出会いの機会を創りだすことを目的とした情報誌です。センター情報をはじめ管内の市民活動団体情報や行政情報をお届けします。

地域コミュニティ の地域づくり ～住民からいち早く 協働への道～



東山長坂 7区自治会
自治会長 鈴木孝男様
(一関市東山地域行政区長
協議会 会長)

438世帯1298人の住民の6割強が団地や分譲住宅転入者で占める東山町柴宿地区で、自治会長と行政区長協議会会長を兼任し12年目になる鈴木孝男さんにお話を伺いました。

地域の課題解決に

「軽トラフェスタ」

一関市が合併した平成17年に、サンヒル柴宿が分譲したが、62区間のうち売れたのはわずか3戸で、なかなか売れず雑草が生え防犯問題が起りかねない、「これは祭りをやらないと！」という想いと、新旧住民の交流を目的に、軽トラフェスタ「交流のわ」は平成20年に地域おこし事業の一環で初めて行われ、来場者700人の大盛況でした。昨年から自治会総合補助金を受けて開催しており、トラックやテントにそれぞれ持ち寄った品物で何をもってもOKとして、育成会で集めた不用品等を売る子ども達の販売も始めたといえます。祭りを盛り上げる為、太鼓5団体・よさこい5団体の他、子ども神輿や踊りを行い、このイベントを通して、「隣の方と初めて話が出来た」と住民からの嬉しい声があり、宅地もその後売れ始め、今も建設中との事です。

自主防災組織100%

平成17年4月に自主防災会を発足し、投光機や発電機等の必要品はすべて揃えており、3・11、4・7地震発生後、自宅はそのまま構わず、すぐ対策本部を作り住民の安否確認や被害状況確認等情報収集し、おにぎり準備や携帯電話の

充電も行い、住民からは大変喜ばれたそうです。

震災を通して自主防災意識を高める為自治会の運動会に「担架づくりリレー」を取り入れたという鈴木さん。「担架づくりリレー」は、消防署から借りた水の出る消火器を倒し布で担架を作り怪我人を実際運ぶというもので、東山町民運動会でも採用されているそうです。訓練で身に付けた事を再確認する良い場だと感じました。

そして、今年9月には、28自主防災会で投光機・発電機の必要品を取り揃えたとのこと。

ユニークなアイデア 交流の「わ」

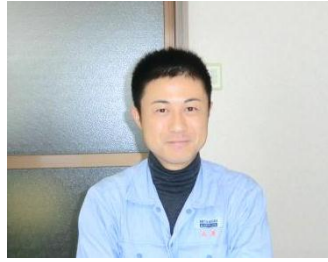
地域づくりに大切な自治会活動に、鈴木さんは様々なアイデアを出しています。地域で子育てをする為、2月には小学校入学祝いにノート等の文房具を、中学校入学祝いに運動靴を自治会からプレゼントし大変喜ばれているそうです。また、夏休みのラジオ体操は皆勤賞等準備し、家族皆で参加。その後行われる軽トラフェスタを盛り上げる為行うよさこいソーランの練習を1曲行う事で、新たに練習日を設ける事も無いと話す鈴木さんには常に地域の方への心配

りが感じられます。また、公衆衛生組合連合会の助成金を活用し、28行政区子供会で6年生にポイ捨て防止の看板を作ってもらっているとの事。自治会の運動会に、大人も楽しんでもらえる様「ビールの早飲み」という種目も考え実行し盛り上がったそうです。平成21年の柴宿団地40周年創立記念文化祭には「新聞で見た」と盛岡から高齢のご夫婦がおいでになり、驚かされた嬉しそうに語ってくれました。

三世代交流で地域づくり

祭りには子どもが必要、子どもの参加で三世代が集まる。そして自治会では融和と親睦を掲げ活動している。皆で楽しく参加出来る事業をする事(アメ)と規則に沿った自主防災をきちんと守りしつかり行っていく(ムチ)と話してくれた鈴木さんは、組織運営でブロック長8人をどのようにするか模索中とのこと。常にやってみてためな時は次の対策を考え前向きに行動するという鈴木さんに、人を引き付けるパワーと器の広さを感じました。笑顔の中には優しい心配りと自治会という大家族を守っていくという強い信念が伝わってきました。

企業の地域づくり ～人と社会と 地球のために～



三菱マテリアル株式会社
セメント事業カンパニー 岩手工場
総務課総務係 兼 安全衛生室
成澤 淳裕 様

今回、企業の地域づくり活動取材は安定した製品供給と廃棄物処理を通じて地域社会に密着している「三菱マテリアル株式会社 岩手工場」へお邪魔し、総務課の成澤 淳裕さんにお話しを伺いました。

信頼ある

セメント工場を

目指して

三菱マテリアル株式会社 岩手工場は、国策事業として操業していた東北開発株式会社を前身として1958年より操業開始。1991年から三菱マテリアル株式会社 岩手工場となりました。「地元地域住民にとっては【東北開発】と言う名の方が親しみがあるのでは？」と、成澤さんは話します。東北のニーズに合わせたセメント作りを行なう同社 岩手工場では、環境対策として法律に基づき、騒音測定・粉塵測定・臭気測定などを定期的に実施し、地域住民が不安に思わぬよう住民や市に対し報告・開示をしているとのこと。1992年からは天然資源の石灰石だけではなく産業廃棄物を1450度で処理する高度なりサイクル技術を駆使し有害物質や廃棄屑を生せずセメントの原材料に有効活用、天然資源の保有にも務めています。

震災発生後のCSR活動

循環型社会構築への貢献

昨年3月11日に起きた東日本大

震災後、一関市内・沿岸部の廃棄物（がれき）を受け入れ、セメントの原材料化し震災前に負けない、きれいなまちづくりのために活かすという循環型の取り組みをおこなっています。

震災廃棄物の受け入れには、同社 岩手工場に隣接している3地区の区長らや役場・官庁（労基署、保健所等）また、従業員それぞれに放射能についてなどの説明や勉強会を設け、区長や官庁関係については、直接足を運んで説明を実施することもあり、常に丁寧な対応を心がけています。

地域住民の意見を取り入れ双方が納得した上での事業展開について成澤さんは「安心・安全の管理を徹底しているのは地域住民・従業員のため、我々の責務です。」と、語っていました。

震災後の一関市内も停電や断水などに見まわれ、同社 岩手工場でも操業の中断。そんな中、本社をはじめ、各事業所からさまざまな救援物資が届きました。しかし、情報手段が限られる中、沿岸部の被害は大きいと知った従業員たちは、自分たちの救援物資を最小限にし、翌日から17回に渡り救援物資を沿岸部へと

届け、その後も震災ボランティアとして、全社的に希望者を募り、定期的にボランティアへ派遣を実施。初期段階の片づけ作業から草刈りなどを行いました。また、近隣での断水にも素早く対応し、同社 岩手工場の井戸水を提供しました。

常に情報開示し、 開けた工場づくり

同社 岩手工場では、工場見学を積極的に実施しています。「なにをつくる会社？」「セメントってなに？」ということを知ってもらえるチャンスと考えています。」と成澤さん。工場見学ご希望の場合は、三菱マテリアル株式会社 岩手工場 総務部までご連絡ください。

取材には、終始優しい笑顔でお話してくれた成澤さん。震災復興 循環型社会への貢献のお話しがとても印象的に感じました。これからも地域の企業として、私たちの生活を支え続けて欲しいと思います。

◆代表者名…谷藤正人さん（医師）

◆事業所

「宅老所せんまや」「宅老所せんまや2号館」

〒029-0803

岩手県一関市千厩町千厩字町浦 185 番地

電話：0191-51-3315

E-mail：masatoy@violet.plala.or.jp



谷藤 正人 さん

利用者が、住み慣れた地域で尊厳を保ち、 自立して暮らしてゆく支援をします。

介護と医療の連携事業

NPO法人千厩まちかどケアセンターの代表者である谷藤さんは、平成15年まで県立大東病院に勤務し、その間に旧大東町の保健福祉分野の方々との連携を通して地域の介護事情を学びました。そこで、医療だけでは救えない人々の存在を目的に、医療分野と保健福祉分野が連携した医療介護施設の設定を決意。平成18年に岩手県からNPO法人認証の権限を一関に移譲になり、市内で第一号となる法人の認証を受けたのち、平成19年に小規模多機能型居宅介護施設「宅老所せんまや」を開業しました。

宅老所せんまや

宅老所せんまやの一番の特徴は、谷藤内科医院と介護施設が併設されている所です。内科医院で地域の方の健康状態を診て、介護施設では「通

所」を中心に随時「訪問」、「泊まり」を組み合わせてニーズに合ったサービスを提供します。ここでは、介護予防体操、健康講座など、利用者さんの体調を支えるサービスが受けられる他、地域行事への参加や、季節行事等の楽しいイベントも行います。最近では、地域で行われた人形展や、室根山の美しい紅葉を見に行く活動を果たしました。

また、宅老所では近隣に住む方と協力して10月に芋煮会を開き、みんなで調理した後におしゃべりを交えながら楽しく食事をしました。中には「久々に包丁を握ったわ」と嬉しそうに調理するおばあちゃん姿も。自分達の手で作った料理は格別で、利用者さんの笑顔が印象的だったそうです。この他、地域の方や団体との交流会を頻繁に行い、定期的に発行している新聞には、地域の方との交流を楽しんでいる利用者さんの笑顔が沢山写っていました。

地域で安心して暮らせるように

「ありきたりなことですが、お年寄りや認知症等ハンディキャップを持った人が住み慣れた所で安心して暮らせるように、我々が支援していきたいという目標があります。そのために、医療と介護のネットワークを築きながら、できるだけ漏れないように利用者さんを支えていきたい。」と谷藤さんは支援に対する意気込みを語ります。

利用者さんのお世話をする職員の方はみんな笑顔で、お見送りする送迎車が見えなくなるまで深々と頭を下げる職員の方の態度からは、利用者さんを思いやる気持ちが伝わってきました。これからも地域に親しまれる医療介護施設として、地域の方の健康を支え続けてほしいと思います。

歩が行く

センタースタッフ
千葉歩の体験レポートです

今回の歩が行くは、まちづくり、教育や心理系、コミュニケーション・チームビルディング・色彩心理などさまざまな分野で活躍している方々を講師にお迎えし、選んで学べる「みちのくワークショップフォーラム」に潜入です!!

須川山が雪化粧となった11月17日、いちのせき市民活動センター（なのはなプラザ4F）を会場に開催された「第2回みちのくワークショップフォーラム」には、地域づくりに役立つスキルを学ぼうと

一関市内外から56名の方が参加し、多くの方が学びを持ち帰りました。

「ワークショップ」と言う言葉がここ東北でも一般的になつてはきましたが、その意味や内容を理解している人が少ないのが現状です。そこで、ワークショップの達人たちが一関に集まり、たくさんの方々のために自ら興味関心のあるワークに参加・体験・学んでいただき、ワークの手法を活用しながら今後の地域づくり・組織運営に役立てていただきたいと思ひ開催。

今回は、このフォーラムの主担当となり、当日までドキドキしておりました。なんどもなんどもスタッフで話し合いを重ねた日々が昨日のようによみがえります。たくさんの方々に「こんなこと一関でしているよ」と伝えたい気持ちでいっぱいです。

写真で振り返る学びと交流



全体会場にてオープニング



会議ファシリテーション



教育環境の形成に向けて



プレゼンテーションのスキルワーク



まちづくり系ワーク



参加のデザインワーク



NLP



色彩心理



対立から学ぶ人間関係づくりワーク



ファシリテーション・グラフィック



チームビルディング



リーダーコミュニケーション



アイデア創出ワーク



全体会場にてクロージング



♪いいぞいいぞイエーイ♪



みちのくワークショップフォーラム

来年の再会を約束

素晴らしい学びの場となったこの日。講師の方々や参加者同士が交流し、クロージングワークでは「また、お会いしましょう」「もう一度参加したいです」「刺激をうけました」「もっと学びたかったです」などの会話が飛び交い会場内は心地よい疲れの中笑顔が絶えませんでした。来年の「第三回みちのくワークショップフォーラム」開催のお約束をし、閉会となったのです。

最後に...

この度は、各方面から多彩な講師の方々、また、お申しいただいた、たくさんの方々の皆様に、ご参加いただきまして心より厚く御礼申し上げます。ご参加された皆さまの「学ぶ」姿に講師の方々も感動されておりました。

ここで、簡単ではありますが、お礼の挨拶とさせていただきます。



イベント・ボランティア情報



いちのせき市民活動センターでは、一関市内で活動する市民活動団体や企業で行うイベントの情報やボランティア募集の情報をお待ちしております。

TEL:0191-26-6400 FAX:26-6415 ☒center-i@tempo.ocn.ne.jp



アロマ講座

NPO法人ファンスポルト一関では、気軽にアロマテラピーについて学べる「アロマ講座」を開催します。アロマ検定2級で使用する精油を使用し、フレッシュナーを作成します。参加を希望される方は、開催日の二日前までに電話で申し込みをしてください。

日時：平成24年12月6日
時間：13時30分～15時30分
場所：なのはなプラザ4階
(いちのせき市民活動センター)
料金：500円(材料費込み)
電話：080-2814-8671
担当：ファンスポルト



スマートフォン 快適活用講座受講生募集

市内に居住または勤務している勤労青少年及び求職中の方(36歳以下)でスマートフォンをある程度使いこなせる方を対象に、スマートフォン快適活用講座受講生を募集します。

日時：平成24年12月7日
時間：19時～21時
場所：一関勤労青少年ホーム 集会室
料金：無料
定員：先着20名
講師：ドコモショップ一関東店
締切：平成24年12月3日まで
電話：0191-21-2144



そろばん・あんさん大ずもう グランプリ大会

NPO法人全国地域学習振興会では、小野寺塾に通うそろばん教室の利用会員が日頃の学習の成果を競い合う、学習発表会を開催します。小～高校生までの約90名が大会に参加し、得点が多い順に表彰が行われます。

日時：平成24年12月9日
時間：10時30分～14時30分
場所：イオンスーパーセンター一関店
会議室
見学：無料
電話：0191-23-5798
担当：小野寺



平成24年度 第4回地域力創造セミナー

活力ある地域づくりや課題解決に取り組む各地方公共団体のノウハウ蓄積、人材育成等を支援するとともに、共通の行政課題に取り組む地方公共団体同士や講師とのネットワーク構築の場を提供することを目的に、地域力創造セミナーを開催します。

1回目日時：平成24年12月10日
場所：ペリーノホテル一関
2回目日時：平成24年12月11日
場所：一ノ関駅集合予定
申込&問い合わせ：03-5205-7901
申込締切：12月5日
担当：八木、目黒



おしゃべりしませんか！

もりおか・いわて若者サポートステーションでは、15歳～概40歳の仕事に就いていない方(学校を休学中の方も対象となります)を対象に、相談会を開きます。もりサポのスタッフや参加者と交流してみませんか？お気軽にお越しください。

日時：平成24年12月10日
時間10時～15時
場所：なのはなプラザ4階
(いちのせき市民活動センター)
電話：019-625-8460
担当：佐藤



いちのせき子どもふえすた

一関市、平泉町の小学校低学年までの子どもと保護者、子育てをしている方、妊娠中の方を対象に「いちのせき子どもふえすた」を開催します。50名に賞品が当たるお楽しみ大抽選会や、スタンプラリーなど楽しいコーナーを多数ご用意しております。

日時：平成24年12月15日
時間：10時～14時30分
場所：なのはなプラザ4階(旧ダイエー)
料金：無料
電話：0191-26-6400
担当：おやこ広場/岩淵、千田



お茶っこ交流会

一関市社会福祉協議会では、一関地域にお住まいの、東日本大震災被災者の方々を対象に、ふるさとお茶っこ交流会を開催します。12月は「クリスマス会」を予定しております。

日時：平成24年12月12日
午前14時～午後16時
場所：一関保険センター
料金：300円
申込：不要
持物：特になし
電話：0191-23-6020
担当：一関市社会福祉協議会
地域福祉課/菊池、菅原、小野寺



スポーツ吹矢 会員募集

社団法人日本スポーツ吹矢協会では、一緒にスポーツ吹矢を行う会員を募集しております。スポーツ吹矢は性別・年齢を問わず、どなたでも、いつからでも楽しく始められます。会員になって正しくスポーツ吹矢式呼吸法を学ぶことで、安全に楽しく行えます。

スポーツ吹矢の魅力
・いつでも、どこでも、手軽にできます
・スポーツ吹矢式呼吸法による健康効果
・精神力&集中力を高めます 等
HP：<http://www.fukiya.net>
電話：090-9749-0929
担当：萩田



さくらなみき自閉症美術館

さくらなみき自閉症美術館では、「感性と個性の出会い～鹿児島からの贈り物～」と題し、鹿児島と岩手の作家がコラボレーションしたギャラリー展を開催します。

日時：平成24年11月3日～12月28日
休館日：月曜、祝日
時間：10時～19時
入館料：無料
電話：0191-23-3444
担当：いわて発達障害サポートセンター
ええ町づくり隊